

自分さがしのための体験学習

～ 直接体験活動の取り組みを通して～ < 高等学校 >

目的 各種の生活体験、自然体験を通して、自立心や社会性を養い、進路を自ら切りひらく力を育てる。

< 気づく >

自分の夢や希望について考える

ガイダンスを受けて、直接体験活動の意義を認識する。

直接体験活動
選択調査用紙
保護者承諾書
ゲスト
講師の選択



< 広げる深める >

活動内容についての情報を集める

自分の夢や希望につながる活動の情報を収集し、自分のやってみようとする内容に絞り込む。

通信の
発行



< 計画する >

活動内容について計画を立てる

活動する内容に焦点を当てて、実行に移す計画を立てる。

【活動例】
職場体験
ボランティア活動
各種講座等へ参加
大学等の
オープンキャンパス
地域社会活動
など



< 実践する >

自分の計画した活動を実施する

自分のたてた計画にもとづき実施する。
(主に、夏季休業中に2～5日程度実施)

保険に加入し、生徒の
安全面に配慮



< 振り返る >

実施報告書を作成し、実施報告会に参加する

実施した活動の結果を分析・内省する。
活動の成果が望ましいものであったかを評価する。望ましいものでなかった場合も、その原因を考察し、発表することにより結果を他者と共有する。

【直接体験活動】
生活体験・社会体験・自然
体験などを通して、自立心
や社会性を養い、自分の将
来を切り拓く能力を養うた
めの活動。
インターンシップ・ボラン
ティア・クラブ活動・海外
研修などを通して実践され
ている学校がある。